

除雪機ミッション

SBC-30H

HSTエア抜きマニュアル

T/M: SBC-30H HSTエア抜き及び試運転手順

(2/3)

- ① HSTのサブタンクにエア抜き後のオイルレベルの降下を見越して上限位置(UPPERと記載)までオイルを入れる。
- ② エンジンを始動する。
- ③ エンジンアイドリングでHSTレバーを副変速・低速で前・後進させる。(走行させる)

A. 本機は動くが車速が低く、HSTのエア噛み音がある場合

- ④ エンジンMAXの副変速・高速で前・後進(10m程度走行)を3～4回繰り返す。
- ⑤ 車速を確認する。
- ⑥ 油面がサブタンク内の規定位置にあるかどうか確認(不足時補給のこと)

* 改善されない場合

エンジン
停止状態

- ⑦ エア抜きバルブのロックナットを緩める。
- ⑧ エア抜きバルブが閉まっているか確認(閉まっていなければ閉める: $9.8 \pm 1 \text{ N} \cdot \text{m}$)
- ⑨ ロックナットを締め付ける。($19.6 \pm 3 \text{ N} \cdot \text{m}$)
- ⑩ エンジンMAXの副変速・高速で前・後進(10m程度走行)を3～4回繰り返す。
- ⑪ 車速を確認する。
- ⑫ 油面がサブタンク内の規定位置にあるかどうか確認(不足時補給のこと)

エンジン
停止状態

B. 本機が全く動かない場合

- ④ エア抜きバルブのロックナットを緩める。
- ⑤ エア抜きバルブを1/4程度緩め、ロックナットを仮締めする。
- ⑥ エンジンを始動し、アイドリングにSET
- ⑦ HSTレバーを副変速・低速・前進フルストローク位置まで倒す。(30s程度)
- ⑧ HSTレバーを中立に戻し、エンジンを停止する。
- ⑨ ロックナットを緩め、エア抜きバルブを閉める。($9.8 \pm 1 \text{ N} \cdot \text{m}$)
- ⑩ ロックナットを締め付ける。($19.6 \pm 3 \text{ N} \cdot \text{m}$)
- ⑪ エンジンMAXの副変速・高速で前・後進(10m程度走行)を3～4回繰り返す。
- ⑫ 車速を確認する。
- ⑬ 油面がサブタンク内の規定位置にあるかどうか確認(不足時補給のこと)

M12ロックナット: 二面幅17mm

エア抜きバルブ : 二面幅8mm

